

官人第四〇一四號

起案	昭和十一年八月十八日	施行	昭和十一年八月十八日	完結	昭和十一年八月十八日
接受	昭和十一年八月十八日	施行	昭和十一年八月十八日	完結	昭和十一年八月十八日

人事課長

案

課

長

南洋廳長官宛

任官命令ノ件通知

左記ノ通海軍省ニ於テ命令相成リタルニ付及通知

18.8.18

候

南洋廳記 中山長正

任海軍書記
給五級俸

同

平野唯重

任海軍書記
給六級俸

同

海軍書記 中山長正
平野唯重

ホルネ才民政部附命ス

昭和十八年八月二十日

海軍省



(起筆用紙)

人秘第一號ノニハ五

昭和十八年八月二十日

海軍省人事局第一課長

大東亞大臣官房人事課長

任官發令ノ件通知

左記ノ通發令セラレ候

記

大東亞屬 小坂寛見

任海軍書記

南洋屬 中山長正

任海軍書記



給五級俸

南洋屬 平野唯重

任海軍書記

大東亞技手 野呂一重

任海軍技手

昭和十八年八月二十日

海軍省

給五級俸

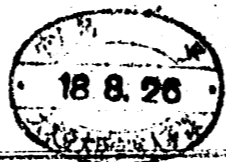
海軍書記 小坂寛見

セラム民政部附テ命ス

同 中山長正

ナルホ才民政部附テ命ス

同 平野唯重



ホルネ才民政部附子命ス

七才▲民政部附子命ス

昭和十八年八月二十日

海軍技手

野田一正

海軍省

(終)

18.8.26

海軍省

官人 第三九七一號
 起 接 受 昭 和 六 年 八 月 三 十 日
 施 行 昭 和 六 年 八 月 廿 八 日
 完 結 昭 和 六 年 八 月 廿 八 日
 淨 書 校 發 收
 昭 和 六 年 八 月 廿 八 日

人事課長

次官案

案

課長

南洋廳長官宛

任官及令ノ件通知

左記ノ通海軍省於テ宛令ヲ依リタルニ付及通

大臣官

知候

記

南洋總属 廣瀬 幸一

任海軍警部

給五級俸

南洋總属 稲田 豊藏

同

井部 善夫

任海軍警部

給六級俸

海軍警部 廣瀬 幸一

(普通)

同

稲田 豊藏

同

井部 善夫

ホル才民政部附ヲ命ス

(紀家用紙ニ脱ノ三)

規格-B5 (縦横3.195)

大日本帝國政府

昭和十八年八月七日

海軍省

(國定規格B5(1)×C3(2)部)

REEL No. A-1222

0316

アジア歴史資料センター

人秘第一號ノ一ニ六九

昭和十八年八月二二日



大東亞大臣官房人事課長 殿

海軍省人事局第一課長

任官發令ノ件通知

記

左記ノ通發令セラレ候

南洋廳長 廣 嶺 幸 一

任海軍省部
給五級俸

(各通)

南洋廳長 廣 嶺 幸 一
同 南洋廳長 廣 嶺 幸 一
井 部 善 夫



海軍

任海軍省部
給六級俸

昭和十八年八月七日

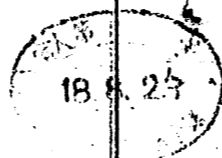
(各通)

海軍省 廣 嶺 幸 一
海軍省部 廣 嶺 幸 一
同 井 部 善 夫

本ル本才民政部附才命ス
昭和十八年八月七日

海軍省

(終)



海軍

陸軍省

官 第三〇〇九 號

決 裁 昭和拾八年七月廿三日

許 淨 合 校 送 發

接 受 昭和 年 月 日

施 行 昭和拾八年七月廿四日

完 結 昭和 年 月 日

人事課長

次 官 中

南方軍務局長

案

海軍次官 宛 次 官

六月二十四日附官房人機密第三八九號ヲ以テ御来
照ニ係ル左記ノ者頭書ノ通任用方ニ件右ニ差支無

之ニ付及回答候

記

八月二十日

八月二十日

八月二十日

八月二十日

八月二十日

八月二十日

八月二十日

海軍書記 (三) 大東亞屬

中坂

寛

正

見

海軍技手 (五) 大東亞技手

野呂

一

正

林

海軍書記 (五) 南洋廳屬

廣瀬

幸

一

林

同 書記 (三) 同

平野

唯

重

林

同 (五) 同

中山

長

生

林

同 南洋廳通譯生

井部

善

夫

林

同 (三) 同

稻田

豊

藏

林

(出案用紙三號ノ三)

規格一BS (東東484)

REEL No. A-1222

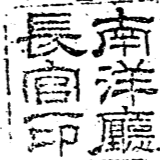
アジア歴史資料センター

南洋廳

東人秘第一四五號

昭和十八年七月十三日

南洋廳長官



大東亞大臣官房人事課長 殿

七月一日附官人第三〇〇九號ヲ以テ御來照ニ係ル當廳職員ヲ海軍書記
ニ任用ノ件差支無之候ニ付此段及回答候

11-5 (タイプライター用紙)

REEL No. A-1222

アジア歴史資料センター

起	接	官人第三〇〇九號	決	昭和八年八月十五日	完	結	昭和	年	月	日
案	受		裁	昭和八年八月十五日	書	校	和			
昭	昭		行	昭	印	合	年			
和	和		昭	和	送	校	月			
八	年		租	年	發		日			
年	之		和	月						
之	月		輸	日						
日	千		入	日						
八	八		年	日						
日	日		月							
			日							
			日							

人事課長

次官

南洋事務局長

案

課長

南洋廳長官宛

左記ノ者海軍書記ニ任因致度旨海軍有ヨリ
 申越タルニ付御差支ノ有無至急御回答相煩度

大臣官

大東亞

及昭會候
追不御書
同今事
履歷書
通御送付相成度

南洋廳屬廣瀨幸
記

同 平野唯重

同 中山長生

南洋廳通譯生井部善夫

同 稻田豐藏

任海軍書記

(和紙用紙三號ノ三)

規格-115 (東東3,105)

REEL No. A-1222

アジア歴史資料センター

官房人機密第289號

昭和十八年六月二十四日

大東亞次官 殿

海軍次官

18.6.26

3009

定員外配屬者轉官ニ關スル件照會

貴省定員外トシテ當省關係各部ニ配屬中ノ左記ノ者夫々頭等ノ通任用方取計度候處貴省ニ於ケル御差支ノ有無至急回答相成度
追テ右御差支無之候上ハ暇懸時ニ通調製御送付ヲ得度

記

海軍書記	大東亞屬	小坂 寬	見
海軍技手	大東亞技手	大友 豊	美
		野呂 一	正
			正

海軍

(在籍地)

海軍書記
同
同
同
同

南洋廳屬
同
同
同
同

廣瀬 幸一
平野 唯重
中山 長生
井部 善夫
稻田 豊藏

廣瀬 幸一 第三艦隊司令官
平野 唯重 第三艦隊司令官
中山 長生 第三艦隊司令官
井部 善夫 第三艦隊司令官
稻田 豊藏 第三艦隊司令官

海軍

別紙

秘

級高等官七等

昭和十八年八月七日

海軍技師 正木 茂男

賜八級俸

補海軍海軍特務部部員

同 西田 正 尚書官補入

賜九級俸

補セレハス民政部部員

海軍省

昭和十八年八月七日

(秘)

海軍

人補第一編ノ一二四一

昭和十八年八月

十八日

海軍省人事局第一課長

大東亞大臣官房人事課長 殿

任官命令ノ件通知

任官ノ通達令セラレ候

記

大東亞技師 正木 茂男

任海軍技師

級高等官六等

大東亞技師 西田 正男

任海軍技師

履歴記入



補

海軍

八六

接 起	受 案	昭 和	年	月	日	施 行	昭 和	年	月	日	完 結	昭 和	年	月	日
		昭 和	八	十	八		昭 和	八	十	八		昭 和	八	十	八

第 三 三 八 號

決 裁

昭 和 八 年 十 月 廿 壹 日

書 淨

合 校

送 發

宣 示

大 臣

野 村 胡堂

長 官

野 村 胡堂

長 官

長 官

正 務 外 郎 野 村 胡堂

奉 月 十 五 日 附 官 房 人 換 添 文 三 五 日 佛 多 也 一 印 未

大 東 亞 會

此三條止爲者拉印正木其男ヲ烟草控印
好ノ銀一ニ任用ノ中ヲ取在リ差支至之ニ付
願應考一ニ通判務人同家又
是ヲ本州村置在令一上ニ由通判報知候度
爲度申候了。



規格-115 (東武3,195)

REEL No. A-1222

0305

アジア歴史資料センター

秘

官房人機密第三五四號

昭和十八年七月十五日

大東亞次官 殿

海軍次官

定員外配屬者轉任ニ關スル件關會

貴省定員外トシテ當省關係各部ニ配屬中ノ左記ノ者頭書ノ通任用方取計
處候處貴省ニ於ケル御差支ノ有無至急御回答相成度
追テ右御差支無之儀上ハ履歷書ニ通關御差支付テ得度

記

海軍技師 大東亞技師 正 木 茂 男

昭和十八年七月十五日

(終)

海軍



人機第一號ノハニ三

昭和十八年六月三十日

大東亞大臣官房人事課長 殿

海軍官人機第一號

人機第一號

正官設令ノ件通知

左記ノ通設合セラレ候

記

大東亞屬 土川 福 雄

任海軍書記

給五級俸

任海軍技手

給四級俸

大東亞技手 島 澤 正 徳

海軍

海軍

秋

昭和十八年六月二十五日

海軍省
海軍書記
土川福雄

南西方面海軍民政府附ヲ命ス

海軍攻手
島澤正徳

海南海軍特務部附ヲ命ス

昭和十八年六月二十五日

海軍省



海軍

X 閣下
X 閣下
X 閣下

起	接	官人	決	昭	昭	完	合	送
案	受	第二二〇二號	裁	和	和	結	校	發
昭	昭			十	十	昭		
和	和			年	年	和		
六	六			五	五	年		
年	年			月	月	月		
五	五			八	八	日		
日	日			日	日	日		

人事課長印

信田

大臣了

次官

案

次官

海軍次官宛

定員外配屬者轉官ニ關スル件

本月十一日附官房人機密第一八〇號ヲ以テ御来

大東臣 宣

照ニ係ル當省理事官加藤義明ヲ海軍司
政官ニ授キ手島澤正徳ヲ海軍技手ニ夫々任用
件了承右ハ差支無之ニ付履歷書各三通
相添ニ及回答候

追テ客年十一月一日附官人第三六號ヲ以テ同人
等六名旧拓務省ヨリ大東亞省ニ移管セラレ
タルニ付同日附ヲ以テ再從軍御發令方依頼
致シ置キタルモ末ダ右御發令ノ公信ニ持セサル
モノニ付申添候尚本件轉官御發令ノ上ハ御
通報相煩度為念

(起案用紙ニ送リ)

明治三十四年十一月一日



秘

官房人機密第一八〇號

昭和十八年五月十一日

山
18.5.15
中

大東亞次官殿

海軍次官

定員外配屬者ノ轉官方ニ關スル件照會

軍政要員トシテ海軍各部ニ配屬中ノ左記ノ者夫々各願書ノ通轉官方取
計度候ニ付テハ貴省ニ於ケル御差支ノ有無至急承知致度

追テ右轉官ノ際ニ於ケル希望官等俸給併セテ御通知ヲ得度尙右轉官
差支無之候上ハ履歷書各因通宛作製御送付相成度

記

海軍技手	大東亞技手	島	澤	正	德
海軍司政官	大東亞理事官	加	藤	義	明

2202
18.5.15

海軍

下目録

接 受 案	昭 和 十 七 年 五 月 六 日	第 二 〇 九 號	決 行	昭 和 十 七 年 三 月 拾 壹 日	完	結	昭 和 十 七 年 五 月 六 日

人事課長印

大臣了

次官

梅澤次官

五月四日附置房人オハハ五神カ如クヨク



此ニ於テ商省ノ主川橋造ヲ海軍書記ニ
 任用シテ了後右ノ差支並之ニ付應應
 勅ニ通知奉へ及同答候
 是ヲ嘉平十一月一日附置人オ三六神ヲ以テ
 同人外並右日扱務者ヨリ大東亞省へ移置
 せらレタルニ付同日附ヲ以テ南越軍中將
 左方扱務勅シ置キタルニ事ヲ右節宛令
 一公送ニ據セザルモノニ付申張者尚存候
 封官宛令一上ハ通知報知候所ニ付
 念



(起案用紙三號ノ三ノ六番非納)

官房人第八五號

昭和十八年七月四日

大東亞次官殿

定員外配屬者轉官ニ關スル件照會

貴省定員外トシテ當省關係各部ニ配屬中ノ左記ノ者轉官願書ノ選任用方
取計度候處貴省ニ於ケル御意支ノ有無至急回答相成度

通テ右御意支無之候上ハ履歴簿二通調製御送付ヲ得度

記

海軍書記

大東亞屬

土川 福雄

元海軍省人事局第一課長

(終)



海軍

人秘第一號ノ八九九

昭和十八年七月十二日

大東亞大臣官房人事課長 殿

海軍省人事局第一課長

配屬者發令ノ件通知

左記ノ通發令セラレ候

記

大東亞技師 正

木 茂 男

大東亞理事官 副

藤 義 明

大東亞技手 副

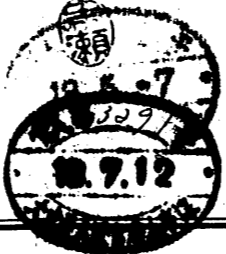
澤 正 備

大東亞屬 土

川 福 雄

海軍警備府附子命ス

海軍



南西方面艦隊民政府附ヲ命ス

(終)

大東亞屬 小坂 寛見
大東亞技手 野呂 一正

第二南遣艦隊司令部附ヲ命ス

昭和十七年十一月一日

海軍省

(終)



(花時抄)

海軍

附録
第11号

海軍少将

起 案	昭 和 十 七 年 十 月 一 日	接 受	昭 和 十 七 年 十 月 一 日	官人第三六號	
				決	裁
施行				昭 和 十 七 年 十 月 一 日	月 日
昭 和 十 七 年 十 月 一 日				完	結
昭 和 十 七 年 十 月 一 日				合	校
昭 和 十 七 年 十 月 一 日				送	發

18712

次官

案

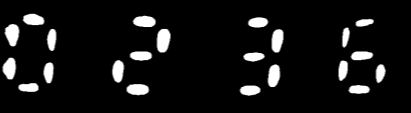
次

官

海軍次官宛

現、從軍中、元拓務省定員外配属者、因之件
標記、件左記、通本月一日勅令第七百十七号、

大東臣旨



依り官名異動有之候條同日附_レ以テ再從軍
 御發令方御取計相煩度及御依頼候

記

大東重技師	元拓務技師	正木茂男
大東重理事官	元拓務理事官	石藤義明
大東重屬	元拓務屬	川坂寛見
同	同	土川福雄
大東重技手	元拓務技手	島澤正徳
同	同	野呂一正

(北) 陸軍部 第三師 第三 (三)

規格一B5 (東東3105)

大日本帝國政府

昭和六年三月二七	從軍警備隊	官名	職務	氏名	備考
昭和六年三月二七	從軍警備隊	警備官	北	高橋進太郎	○
昭和六年三月二七	從軍警備隊	警備官	北	青木熊夫	○
昭和六年三月二七	從軍警備隊	警備官	北	小里玲	○
昭和六年三月二七	從軍警備隊	警備官	北	川田博通	○
昭和六年三月二七	從軍警備隊	警備官	北	津川其二	×
昭和六年三月二七	從軍警備隊	警備官	北	依田友安	△
昭和六年三月二七	從軍警備隊	警備官	北	正木茂男	○
昭和六年三月二七	從軍警備隊	警備官	北	北村豊治	○
昭和六年三月二七	從軍警備隊	警備官	北	加藤義明	○

從軍者之關心調

高等官部

(國定規格防六三三三三三)

大日本帝國政府

昭和六年三月二四	從軍警備隊	官名	職務	氏名	備考
昭和六年三月二四	從軍警備隊	警備官	北	園田新	○
昭和六年三月二四	從軍警備隊	警備官	北	小坂寛見	○
昭和六年三月二四	從軍警備隊	警備官	北	清水豊山	○
昭和六年三月二四	從軍警備隊	警備官	北	竹内善郎	○
昭和六年三月二四	從軍警備隊	警備官	北	工川福雄	○
昭和六年三月二四	從軍警備隊	警備官	北	關澤正徳	○
昭和六年三月二四	從軍警備隊	警備官	北	合谷泰祐	○
昭和六年三月二四	從軍警備隊	警備官	北	野呂一正	○
昭和六年三月二四	從軍警備隊	警備官	北	木口浩一	○
昭和六年三月二四	從軍警備隊	警備官	北	横田善衛	○

從軍者之關心調

判任官部

(國定規格防六三三三三三)

年 月 日	職 歴	事 項	官 廳	生 日 年 月		姓 名
				月	日	
昭和五三二九	東京帝國大學農學部實科卒		東京帝國大學	明治廿八年五月廿八日		正木茂男
現住所	北海道網走郡美幌町字活汲三番地					
年 月 日	職 歴	事 項	官 廳			
六三二一	花蓮港公學校教員心得ヲ命ス		花蓮港廳			
三三一	任露濱公立實業學校教諭兼 露濱公立實業學校校長	月俸百圓ヲ給ス	露濱總督府			
昭九六三〇		給五級俸	露濱總督府			
一三三一		給四級俸	同			
四一四	校名改正聯合ヲ用キス 花蓮港國民農學校教諭 並ニ花蓮港國民農學校 長トナル	補花蓮港農林補習學校校長	同			
一五三三一		給三級俸	同			
六二〇	任露濱公立實業學校校長 敝高等官七等	十級俸下賜	露濱總督府			
		補花蓮港國民農學校校長	同			
八一五	敝從七位	補花蓮港農林學校校長兼補花蓮港農林農學校校長	宮内省			
一六四一						

大東亞省

規格31 (京東3196)

一六四一	校長	同
一七三〇	補選中務學校長	同
六五	任補務技師	
	敘高等官七等	
	十級下賜	
	拓南局勤務ヲ命ス	
	海南警備府附ヲ命ス(本官定員外トナシ)	
	九級下賜	
六三〇	陸軍高等官六等	内閣
七一五	敘正七位	拓務省
一一一	官制改正 勅令第七百七十七號ニ依リ同官等條給ヲ以テ大東亞技師トナル	宮内省
八三三〇	海南警備府附ヲ命ス	拓務省
	九級下賜	拓務省

大東亞省

規格 14 (東京 3195)

年 月 日	職 歴	事 項	官 歴	生 年 月 日		本 籍	現 任 所
				姓 名	姓 名		
				明治卅一年六月廿九日		加藤 啓明	大分縣大分郡野津原村大字廻瀬野千七百八十三番地 京市本郷區彌生町三、ホノ二
大正元	七	東京府東京關所中學校入學					
六	三	同校卒業					
四	三	東京府東洋大學大學部印學部 哲學倫理學科入學					
一	二	東京府東洋大學大學部印學部 哲學倫理學科卒業					
		五二四 修身科中級員無試験檢定 ニ合格シ文部省ヨリ右免許 狀ヲ受ク	文部省				
大正六	八	南洋興業株式會社入社					
		馬來半島チヨホール國バンチヨール同社 支店勤務					
		月給英銀海峽殖民地通貨二十八弗餘額					
	日	同社ヲ退社					
	一	三 東洋大學昇格共命勸告被命	東洋大學				
	一	〇 同部専攻中止ニ因リ解部					
	一	三 臨時震災救護事務局員ヲ命ス	内務省				
		月給四拾八圓餘額					
		供給課勤務ヲ命ス					
	一	三 三 廢ヲ命ス					
		月給五拾圓餘額					
		救護課勤務ヲ命ス					

規格 24 (JR 東 3195)

大東亞省

昭和七年八月八日	六二〇		月給五拾五圓給與	同
	九三〇	任社會局長		同
			給月俸六拾圓	社會局
			第二部勤務ヲ命ス	同
			住宅課勤務ヲ命ス	同
			職業課勤務ヲ命ス	同
	一四三〇		給七拾俸	同
	一五三〇		給六拾俸	同
	四二二		社會課勤務ヲ命ス	同
	三三〇		職業課勤務ヲ命ス	同
	三二一六	大體記念章授與	給五拾俸	同
	四三三		給四拾俸	同
	四八	任內閣顧問		同
大東亞省				
昭和四年八月	六二〇	任拓務局長	拓務局長勤務ヲ命ス	内閣
			拓務省へ出向ヲ命ス	社會局
			給四拾俸	拓務省
			拓務局長勤務ヲ命ス	同
			第三課勤務ヲ命ス	拓務局
			第一課第二課業務ヲ命ス	同
			監査、比律賓、及オホネオ島へ出張ヲ命ス	拓務省
			拓務省臨時資金削減官吏ヲ免ス	同
	五七		給三拾俸	同
	六六一	勅令第百號勅令改正四條條(一九七)		同
	六一三二六		伯刺西爾合衆共和國及亞爾然丁共和國へ出張ヲ命ス	同

規格 114 (東京 3195)

1050	海口署	一五七八	鐵動六番機場警班一	九三〇	四級係下賜	一〇五〇	鐵動局
			假配一三六七三八號				拓務省
			官制改正勅令第七百十七號ニ依リ同官等被給付以テ大東亞省官制ニ依リ				
			トナル				
大東亞省							

規格 B4 (東京3195)

REEL No. A-1222

年 月 日	履 歴	事 項	官 廳	生 日 年		本 籍	現 住 所
				月	日		
				明治四十三年	十二月八日	宮城縣仙臺市片平町十三番地	
				小坂	寛見		
大正二一	四	京城公立中學校第一學年入學					
昭和二三	四	同右校卒業					
		京城高等商業學校第一學年入學					
		同右校卒業					
		朝鮮總督府專賣局雇員拜命	朝鮮總督府專賣局				
		同右校卒業					
		同右校卒業					
		同右校卒業					
昭和九六	一〇二二	月俸六拾六圓	朝鮮總督府專賣局				
		月俸六拾九圓	同				
		任拓務廳	同				
		給月俸七拾圓	拓務省				
		拓務局勤務ヲ命ス	同				
		東亞課勤務ヲ命ス	拓務省				
		新潟縣朝鮮及滿洲國へ出張ヲ命ス	拓務省				
		東亞第一課勤務ヲ命ス	拓務省				
		分課規程改正	同				
		分課規程改正	同				
		給六級俸	拓務省				
		給五級俸	同				

規格 34 (東京 3196)

一七三九	三二〇	四五四	一八一	官制改正 勅令第七百七十七號ニ依リ同條給テ以テ大東亞屬トナル	拓北局勤務ヲ命ス	拓務省
					開拓課勤務ヲ命ス	拓北局
					給四級俸	拓務省
海軍省	第二南遣艦隊司令部附ヲ命ス(本官守員外トナル)	吳發アンボン戰地勤務(加算率三月)	一八一	官制改正 勅令第七百七十七號ニ依リ同條給テ以テ大東亞屬トナル		
大東亞省						

規格4 (東京3195)

REEL No. A-1222

0245

アジア歴史資料センター

年 月 日	履 歴	事 項	官 廳	生 年 月 日	姓 名
				大正六年二月廿五日	土川 福雄
		秋田縣鹿角郡毛馬内町毛馬内七六番地			
		東京市本所區吾妻橋一丁目八番地松田久彌方			
昭和九年三月	秋田縣立角館中學校卒業		官廳		
昭和九年四月	早稻田大學專門學校法律科第一學年入學				
昭和九年四月三日	同科卒業				
昭和九年四月十五日	同科卒業	月給四拾二圓	拓務省		
		管理局勤務ヲ命ス	同		
		行政課勤務ヲ命ス	管理局		
		月給四拾五圓	拓務省		
昭和九年四月二十二日		月給四拾七圓	拓務省		
昭和九年五月三十一日		月給五拾五圓	同		
昭和九年六月九日		月給六拾圓	同		
昭和九年七月十七日	任拓務廳	給六級俸	同		
		管理局勤務ヲ命ス	同		
		南西方面體除民政府附ヲ命ス(本官定員)			
		外トナル)	海軍省		
		拓務廳勤務ヲ命ス	拓務省		
昭和九年七月三十一日	官制改正 勅令第七百十七號ニ依リ同課ヲ以テ大南西屬トナル				

大東亞省

規格 B1 (CR 3195)

生年 明治四十一年六月廿二日
 月日
 姓名 島澤正徳
 旧姓名

本籍 愛知縣名古屋市長區東矢場町五拾六番地

年	月	日	職	歴	事	項	官	歴
昭和	八	八	二五		米穀移動調査員ヲ委任ス		農林省	
					編入ス		名古屋 原町合所	
	九	二	五		米穀貯蔵奨励指導員ヲ命ス		愛知縣	
					月俸四拾參圓ヲ給ス		同	
					愛知縣農産物検査所西枇杷島派出所勤務		同	
					西春日井郡出張所勤務ヲ命ス		同	
					經濟部農務課勤務ヲ命ス		同	
	一〇	五	一六		米穀移動調査員ノ職任ヲ解ク		農林省	
					愛知縣副農組合聯合會技手ヲ委任ス		愛知縣副農 組合聯合會	
					愛知縣豊山漁村経済更生委員會指導員ヲ命ス		同	
					命ス		愛知縣	
					月俸俸四拾五圓ヲ給ス		同	
					農村共同經營指導員ヲ命ス		同	
昭和	八	三	二四		東京農學大學農學部農學士試験合格			
					六八愛知縣農林技手ニ任ス		愛知縣	
					判任官即等特選		同	
					十一級ヲ給ス		同	
					愛知縣農産物検査所技手ニ命ス		同	
					愛知縣農産物検査監督員補ヲ命ス		同	
					愛知縣農産物検査所葉栗派出所勤務ヲ命ス		同	

大東亞省

規格 4 CR 東 3195

九一		愛知縣影山漁村經濟更生展覽會審査員ヲ 委託ス	
一一三	大正一〇	農村工業指導委員會指導員ヲ命ス 月俸四拾八圓ヲ給ス	同
一一三	大正一〇	第三十二回全國商業聯合大會委員ヲ委託 ス 月俸五拾壹圓ヲ給ス	同
一一五	大正一〇	拓務省ノ事務ヲ委託ス	
一一五	大正一〇	拓務局勤務	
		月手當六拾圓ヲ給ス	
		東亞第一課勤務ヲ命ス	拓務局
一三	大正一〇	拓務局勤務ヲ命ス	同
		月俸六拾圓	
		拓務局勤務ヲ命ス	同
大東亞省			
		東亞第一課勤務ヲ命ス	拓務局
昭和一三	大正一〇	朝鮮國東州及滿洲國へ出張ヲ命ス	拓務省
		滿洲拓植委員會書記ヲ命ス	外務省
		余登係勤務ヲ命ス	拓務省
		給七級俸	
		給月俸七拾圓	
		給月俸七拾壹圓	
		給六級俸	
		拓北局勤務ヲ命ス	同
		輔導課勤務ヲ命ス	拓北局
		副課勤務ヲ命ス	同
		給五級俸	拓務省
		海南警備府附ヲ命ス(本官常員外トナル)	海軍省

規格 54 (東京 1195)

年 月 日	履 歴	事 項	官 廳	生 日 年 月		名 姓
				舊 姓 名	新 姓 名	
	大分縣東國東郡竹田津村大字竹田津三五六九ノ二			大正二年一月十三日		野呂一正
昭和七三	大分縣立國東中學校卒業					
八四	宮崎高等農林學校畜產學科 ニ入學					
一一三	同校卒業					
四	海外移住組合聯合會事務見 習ヲ命セラル					
一一三	現役兵トシテ入營ノ爲退職					
一一一	野砲兵第六聯隊ニ入營					
一一三	現役終了同日豫備役編入引					
	續キ召集					
昭和一一三	任陸軍砲兵少尉		内閣			
七二五	敘正八位		内閣			
一五八、一	任陸軍砲兵中尉		宮内省			
一五九二	敘從七位		宮内省			
九一五	勅令第五百八十號ニ依リ陸軍中尉トナル					
一六四	内地歸還					
五	召集解除					
六三	拓務省ノ事務ヲ囑託ス	拓務省				
	拓務南局勤務 月手當六拾圓ヲ給ス	拓務省				
	第三課勤務ヲ命ス	拓南局				
	分課規程改正	同				
1010		拓殖課勤務ヲ命ス	同			

大東亞省

規格 4 (東京 3195)

一三二六	月手當六拾五圓ヲ給ス	拓務省
一七三九	任拓務技手	同
	給月俸七拾圓	同
	拓南局勤務ヲ命ス	拓務省
	拓殖課勤務ヲ命ス	拓南局
三二〇	第二南道艦隊司令部附ヲ命ス(本官定員)	海軍省
	外トナル	
	明治三十八年勅令第四十三號ニヨリ本官ハ定員外トナル	
九三〇	給六級俸	
四二四	吳出發アンボン戰地勤務(加算率三月)	
一一一	官制改正 勅令第七百十七號ニ依リ同前等俸給ヲ以テ大市面給手トナル	

美 東 亞 省

規格 4 (東京 3195)